

1 第2期戦略策定の背景

(1) 第1期総合戦略

○大仙市人口ビジョン

2060年(令和42年)に約5万人の人口を確保することを目指すべき将来人口として設定

○大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2次総合計画との整合を図りながら、人口減少の緩和、地方創生に効果が高いと見込まれる施策を抽出し、4つの基本目標を定め、取組を推進してきた。

- | | |
|--------|--------------------------|
| 基本目標 1 | 地域資源を活かす産業の振興 |
| 基本目標 2 | 魅力あるまちづくりと移住・定住の促進 |
| 基本目標 3 | 大仙の明るい未来へ ～子どもの誕生を地域で応援～ |
| 基本目標 4 | 住みよいまち、心豊かに暮らせる地域づくり |

(2) 人口の動向

○日本の総人口は平成30年10月1日時点で1億2,644万3千人と8年連続で減少。高齢化率は過去最高の28.1%。

○合計特殊出生率は、平成17年に最低の1.26を記録した後、平成27年には1.45まで上昇したが、平成30年には1.42に低下。年間出生数は91万8千人と減少を続けている。

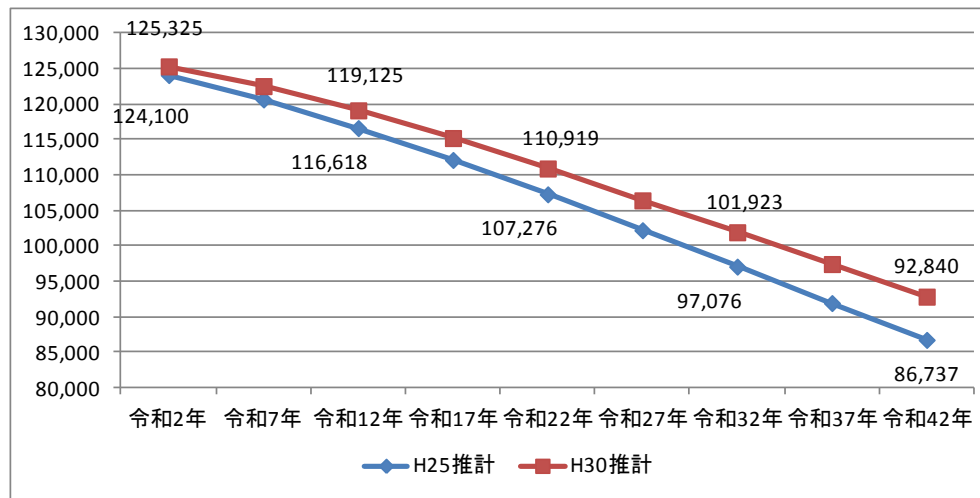
○社人研の最新推計では、合計特殊出生率の上昇や平均寿命の伸長などにより、前回推計より人口減少のスピードや高齢化の進行度合は緩和されたものとなっているが、依然として状況は深刻。

○人口の地域分布では、平成30年に23年連続となる転入超過(13万6千人)を記録するなど、依然として東京一極集中の状況が継続。

○その結果、東京圏には総人口の約3割が集中。15～29歳の若年層が12万人を超えているほか、女性の転入超過数が増加傾向にある。

○一方、令和27年における総人口が平成27年より2割以上減少する市町村は全体の7割以上を占めるなど、人口の偏在がより顕著となっている。

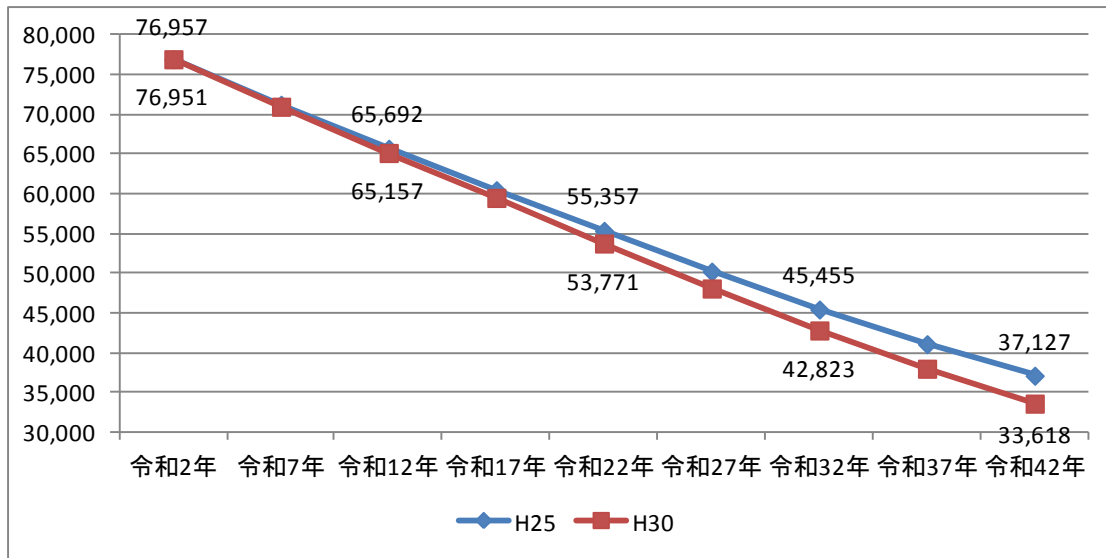
■日本の総人口の推計



第2期「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針

- 本市の人口は、平成12年に10万人を割り込み、ここ20年間は年間約1,000人程度の人口減少が続いている。
- 最新の社人研推計によれば、前回推計よりも5年早い令和27年に5万人を割り込み、約48,000人になると推計。
- 平均寿命の伸長に伴い老年人口及び高齢化率は上昇しているものの、全国的な動向とは反対に、年少人口と生産年齢人口は減少が加速するなど、厳しさを増している。
- 買い物や通院などの日常生活、コミュニティの維持、労働力不足による産業や地域経済の衰退など、様々な面での影響が懸念される。

■大仙市総人口の推計



(3) 第1期総合戦略に掲げた数値目標及びKPIの進捗状況

- 4つの基本目標ごとに定めた数値目標及びKPIについては、全体の約55%において目標を達成。

- 一方で、43%については達成が困難となっているが、進捗率が60%に満たないものは17件と少数であり、全体的にみれば概ね順調に進捗している。
- 基本目標別で見ると、「基本目標3 大仙の明るい未来へ～子どもの誕生を地域で応援～」、「基本目標4 住みよいまち、心豊かに暮らせる地域づくり」において達成が困難とされたものがあった。
- 第1期総合戦略の計画期間中にも、毎年1,000人以上の人口が減少する状況が続いている状況を踏まえ、目標を達成している他の基本目標についても、地方創生に向け、取組のさらなる深化を図る必要がある。

■数値目標及びKPIの進捗状況

区分	全体	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
①	36件 (100.0%)	14件 (38.9%)	11件 (30.6%)	8件 (22.2%)	3件 (8.3%)
②	18件 (100.0%)	12件 (66.7%)	5件 (27.8%)	0件 (0%)	1件 (5.6%)
80%以上100%未満	18件 (100.0%)	12件 (66.7%)	5件 (27.8%)	0件 (0%)	1件 (5.6%)
60%以上80%未満	0件 —	0件 —	0件 —	0件 —	0件 —
60%未満	0件 —	0件 —	0件 —	0件 —	0件 —
③	42件 (100.0%)	18件 (42.9%)	6件 (14.3%)	7件 (16.7%)	11件 (26.2%)
80%以上100%未満	17件 (100.0%)	7件 (41.2%)	1件 (5.9%)	2件 (11.8%)	7件 (41.2%)
60%以上80%未満	8件 (100.0%)	2件 (25.0%)	1件 (12.5%)	3件 (37.5%)	2件 (25.0%)
60%未満	17件 (100.0%)	9件 (52.90%)	4件 (23.50%)	2件 (11.80%)	2件 (11.80%)
④	2件 (100.0%)	0件 (0%)	0件 (0%)	2件 (100.0%)	0件 (0%)
合計	98件	44件	22件	17件	15件

第2期「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針

(4) 第2期総合戦略の策定に向けて

- 国では現在、第1期総合戦略の効果検証を行うとともに、第2期総合戦略の策定を進めているところであり、本年6月には、第2期総合戦略策定方針を閣議決定している。
- 同方針では、第1期総合戦略で掲げた4つの基本目標を基本的に維持。
- 施策の効果が十分に発現するまでに至っていない「地方への新しい流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については取り組みを強化。
- さらに、従来の取組に加え、「未来技術」「人材・組織の育成及び関係人口」などの新たな視点に重点をおいて施策を進めるとしている。
- また、地方においても切れ目のない取組を進めるため、第1期総合戦略の検証と次期総合戦略の策定が求められている。
- 本市としては、人口動向や将来人口の推計、数値目標やKPIの進捗状況から、人口動向は予断を許さない状況にあり、本市の創生は道半ばと判断。
- 第1期総合戦略の効果検証を行うとともに、この難題にオール大仙で果敢に立ち向かうべく、次期総合戦略の策定を進める。

2 大仙市人口ビジョンの改訂

- 第1期総合戦略策定時からの人口動向に合わせた時点修正を行う。
- 将来目標人口については、基本的に第1期の目標人口を引き継ぐこととするが、最新の社人研推計に基づき、様々な条件による試算の結果、大幅な差異が生じた場合は、目標値の再設定を検討する。

3 第2期大仙市総合戦略策定方針

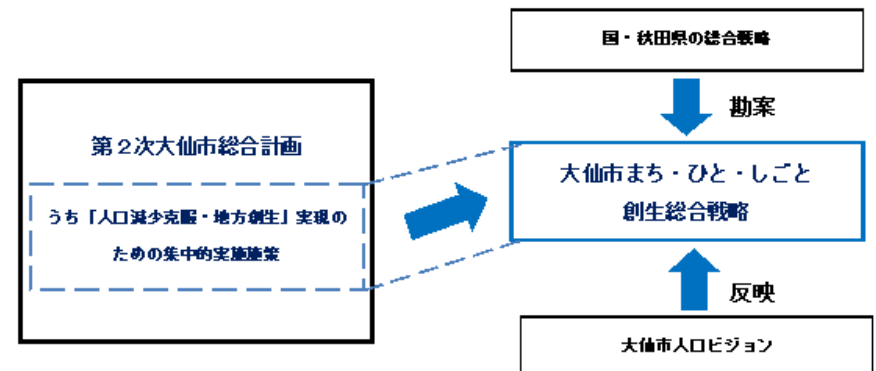
(1) 策定にあたっての基本的な視点

①国及び秋田県の総合戦略との整合

- 「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）第10条の規定により、国、秋田県が定める総合戦略を勘案する必要があることから、これらとの整合を図る。

②第2次大仙市総合計画との整合

- 本市の総合戦略は、総合計画に包含され、同計画の中から人口減少の克服、地方創生の実現のために効果が高く、集中的に実施する施策、事業を取りまとめたものとして位置づけ。
- 第1期戦略は、総合計画前期実施計画との整合を保ちながら推進してきたところ。第2期総合戦略の策定にあっても、後期実施計画と整合を図りながら進める。



第2期「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針

③人口ビジョンに基づいた施策の展開

- これまでの人口動向や、最新の社人研推計に基づき改定した人口ビジョンに基づき、効率的かつ効果的な施策を検討する。

(2) 基本方針

- 令和という新たな時代の幕開けと大仙市誕生15周年の節目の年を、市民とともに取り組む「だいせん創生」の新たな一歩と位置付け、「明日の大仙を拓く新たなチャレンジ」を積極果敢に推進。
- 少子高齢化・人口減少社会にあっても、地域のすみずみまで元気なまちづくり、住み良さを実感でき、将来に希望が持てるまちづくりに取り組む。

①計画期間

- 令和2年から7年の6年間

②基本目標及び具体的施策

- 国が示す枠組みを維持しつつ、基本的に第1期総合戦略における基本目標の趣旨、施策等を引き継ぐ。

■「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」より

- 基本目標1 地方に仕事をつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
- 基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
- 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 効果が十分に発現していない「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に関連する施策に関しては、特に取組を強化する。

- さらに、既存の施策に加え、新たなテーマにも果敢にチャレンジする。

- 「攻めの戦略」と「守りの戦略」を同時並行かつ重層的に進めていく複眼思考を持って、施策を検討する。

③新たな視点

- 国において重点を置いて施策を進めるとしている新たな視点にも留意する。特に「関係人口の創出・拡大」、「Society5.0の実現に向けた未来技術の活用」については、重点的に取り組む。

①地方へのひと・資金の流れを強化する

- ・将来的な地方移住にもつなげる「関係人口」の創出・拡大
- ・企業や個人による地方への寄付・投資等を用いた地方への資金の流れの強化

②新しい時代の流れを力にする

- ・Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ・SDGsを原動力とした地方創生
- ・「地方から世界へ」

③人材を育て活かす

- ・地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援

④民間と協働する

- ・地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携

⑤誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ・女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現

⑥地域経営の視点で取り組む

- ・地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

第2期「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針

④他団体における成果要因の横展開

国の第2期総合戦略策定に関する有識者会議の中間報告によると、一定の成果が見られる地方公共団体に共通する主な特徴として次のポイントが指摘されている。

- 人口減少等に対する危機感と将来に向かっての可能性の共有化
- 地域資源の徹底活用（あるもの探し）
- 現役世代への投資
- 地域の多様な主体との連携・協働

（3）策定及び推進体制

①市民参加

地域協議会、市政評価、パブリックコメントなどを通じ広く意見を伺う。

②大仙市総合戦略推進会議

各分野の専門的な見地から広く意見を伺う。

③大仙市議会

総合戦略策定の各節目において適宜説明を行い、意見を伺う。

④庁内体制

市長をトップとする庁議で審議を行うほか、各課が連携し、策定、推進及び検証を行う。

（4）策定スケジュール

令和元年

8月28日 第1回大仙市総合戦略推進会議
・数値目標及びKPIの進捗状況
・第2期総合戦略策定方針
・推進交付金活用事業の実施状況（ほか）

9月下旬 第2回大仙市総合戦略推進会議
・人口ビジョン（素案）
・総合戦略（素案）

10月下旬 第3回大仙市総合戦略推進会議
・人口ビジョン（案）
・総合戦略（案）

11月26日 大仙市議会常任委員会協議会

12月16日 大仙市議会議員説明会

12月中旬 パブリックコメント
地域協議会説明会（～令和2年2月）

令和2年

2月下旬 第4回大仙市総合戦略推進会議
・人口ビジョン（案）
・総合戦略（案）

2月21日 大仙市議会議員説明会
・人口ビジョン
・総合戦略